

## 八王子の山城・滝山城址を巡る

～山城巡りの専門家・故木村昭一会員を偲んで～

山城好きの私は以前より滝山城には行ってみたいと思っていました。今回それができませんでした。

2022年5月17日、京王八王子駅に集合。11人が集まりました。そこで部長より今回の案内人として木村昭一さんが紹介されました。木村さんは全国2000ヶ所以上の城を巡り歩いたとのことで、今回の滝山城址巡りも木村さんの発案だそうです。

城、特に山城好きの者にとっては天守閣や櫓、砦のあるなしではなく、その縄張りに興味があるのです。如何に敵を迎え撃つか、それが縄張りの妙です。その為私も若い頃より山城を一人で歩き回ったものです。上記見解は木村さんも全く同意見で、また木村さんもやはり一人で歩き回ったとのことです。

滝山城には三の丸に向かう天野坂より入山しました。三の丸から千畳敷、馬出、二の丸、中の丸、本丸と巡りました。木村さんより土橋や枡形や馬出の解説が都度ありました。

入山してみて滝山城は私の想像を遥かに超える大きさで自然の地形を上手く利用して造られた山城であることが判りました。

ここで土橋とは下の写真にある小道です。ただの小道ではありません。左右が空堀となっているのです。この土橋は守備方の連絡路であるとともに攻撃方は空堀を這い登るのが困難な為この土橋を通らざるを得ません。しかしそれは守備方にとり絶好の攻撃的となります。つまり攻撃方の横展開を防ぐ仕掛けとなっているのです。



滝山城址の土橋

また、この土橋を抜けると次は枡形が待っています。これは砦に対して直角に整形された道です。攻撃方は直線的な攻撃ができません。この土橋と枡形はセットとなり三の丸や千畳敷や二の丸、中の丸、本丸のそれぞれを繋ぐ箇所に設けられています。

本丸の先は多摩川への断崖となっており、川からの攻撃はほとんど不可能です。

以上の知識は木村さんから教えていただきました。大変勉強になりました。

しかしながら、その木村さんもこの8月7日にお亡くなりになりました。一期一会とはこのような出会いを申すのでしょうか。私は正直もっと沢山のことを教えていただきたかった。

この紙面を借りて故人のご冥福を祈るとともにあの熱意のこもった案内と解説に深く感謝する次第です。ありがとうございました。

### 城巡り土橋枡形夢のごと

市川 亘 (昭和51年 商)